

[Yahoo!ジオシティーズサービス終了のお知らせ](#)[シャンプーを替えるだけ？](#)

hcs-sastty.com

初回限定1本1,000円OFF♪髪をいたわり染める白髪ケア

Ads by Yahoo! JAPAN

**次の夢を追いかけて**

ず〜っと夢だったスパルタスロンへ

2007年9月28日 ついにその日が〜81キロで6分オーバー、力尽きた

[前日27日はこちら](#)

いよいよレース当日だ。5時に起き、昨日と同じメニューの朝食をとり、アテネに残す荷物を指定の場所に置き、スパルタへの荷物をトラックにのせ、まだ真っ暗な6時、送迎バスでスタート地点のアクロポリスへ。日本の大会と違って仮設トイレなどない。それぞれ茂みの陰へ。今日の観光客は気の毒だ。カメラを持っている人と記念写真を撮りあったりして、不安をごまかす。アロハさんの頭のしゃもじ(完走祈願の寄せ書きつき)が目立つ。

最後尾に並んでいきなり置いていかれたら迷子になるので、真ん中あたりに。7時スタート。アクロポリスの丘を下る。みんな速い。つられていつもよりずっと速いペースだと思いが息切れはしていないし、特に力も入れてない。無理のない程度に走っていると、抜かれる一方。でもまだ後ろがいるから大丈夫。街中を複雑に曲がる。こりゃ、離れたらおしまいだ。ついに最後尾が来た、と思う頃、ガソリンスタンドの前にエイドがあった。7時27分だ。第1CPは5.6kmで関門は7時35分。ということは、今のは何？だってそんなに早く来るはずないんだもん。私設エイド？といつもの感覚で考えてしまった。でもこれは公式戦。ルールが厳しく、勝手な場所にエイドはない。

そのあと、上り坂になった。周囲のペースが落ちたせいか、最後尾脱出。後ろに日本人の知り合いがまだたくさんいる。第2CPは10.8km関門は8:05。3分前の通過だった。実力ランナーの能登さんや岩本さんがペースアップし、前方に行った。このペースなら第3CP15.2kmも大丈夫だろうと思ったが関門の8:25になっても見えない。数分遅れたが、まだまだ後ろもいるし、集団で通過。ここで最初のスペシャル、お菓子を入れた袋を受け取り、食べながら走る。第4CP20.5kmも関門の9:00をわずかに過ぎたがOK。

かわいい街に入った。子ども達が並んでいて応援が賑やかだ。このあたりも集団で、イテテさん達がすぐ後ろに。ガススタでトイレを借り、出てきたらまだ集団が続いている。ほっ。少しずつ抜いて先ほどのメンバーに追いつく。第5CP24.2kmは9時25分の関門ちょうど。街を出て、アップダウンの続く丘陵地になった。焦げた臭いがする。これが例の山火事跡か。陽射しが強まり、暑くなってきた。さて、このあたりからは風景の記憶が順不同だ。道端に、まるで馬頭観音や道祖神のような小さな祠がときどきある。海に向かう芝生に石の並ぶ墓地があった。エーゲ海のぎりぎりまで下りた。(それはもっと先だったかな?)他の大会なら砂浜に下りて海水に手をつけてくるのに。今日はひたすら走る。大きな家が並んで、あちこちの庭から犬の吠える声がある。大きな犬だ。あんなのがうろついていたらたまらない。遺跡らしきものもときどき見える。

CPIにはナンバー、距離、関門、次のCPまでの距離と次の関門を書いた看板が出ている

が、30キロ過ぎでは間違っているところもあった。ぎりぎりでの通過を続け、何とか第11CP、43.5kmも11:40に。フルの通過は4時間半だ。通常は5時間前後かかるのに。確かにいつも遊んではいる。だけど、あそばないで必死に走ると、フルでも最後までもたないのだ。4時間半で走れるのは絶好調のときだけ。今日はテンション上がってるし、それなりに練習してきたから、調子は良くて当然。でも、この暑さのなかだ。そしてフルならもうゴールだけど、まだまだこれからだ。

50キロあたりも一応元気に走っていた。集団はばらけて、上り坂では歩く人もでてきた。コリントスまでの残りの距離と時間を計算すると、間に合う！！わ～い。でも、次のエイドまでの時間はなかなかゆるくならない。いつになったら楽なペースになるの？海沿いのアップダウンの多い道。楽松師匠がいた。それから、高速道路と交差するあたり？平行するあたり？前方にアロハさんが。え～、どうしたんだろう。さきほど熱射病で倒れてしまったそう。60キロすぎて、まだ順調。うれしくなってきた。こんなトップクラスのウルトラランナーばかりの中で、落ちこぼれにならず走れている。

66キロすぎだったと思うが、イテテさんやなおちゃん、いしだつとさんたちに次々と抜かれた。きっとすぐ後ろにいて私のペースが微妙に落ちてきたからだろう。関門の設定ペースはゆるくなってきたのに、通過はずっとぎりぎりだ。急に疲れも感じてきた。街があったのでガススタでトイレを借りた。**このトイレにはびっくり！ドバイの空港にあったあれだ。**脚がついたらどうしようと配管を手すり代わりに、そして、トイレから出てきたら、**しまった！**もう回りにランナーがいない。やばい！落ちこぼれてしまった。前方に歩いているランナーが見えたが、追いつくのは簡単ではなかった。脚の長さも違うし。暑くて吐き気も襲ってきた。我慢して第19CP、70.8kmへ。関門は15:05のところ、15:07着。暑いので塩なめながら来たが、**大変！ここには水がない。**コーラと、変な味のオレンジジュース。気持ち悪くて受け付けられない。エイドのおばさんに文句行ったら「私の間違いだけど、**あなた達は2分遅れたから**」と英語で言うように聞こえた。

「暑くて喉からからなのに、水が飲めず、一気に戦意消失。」**都合のよい言い訳**ができました～。頑張ってもコリントスの関門危ういのに、ガクッとペースが落ちてしまった。関門に引っかけ、バスに乗りたい。休みたい。81キロの関門通過してしまったらどうしよう？その先まだ走る余力なんてない。頑張る気力がなくなった。水、水、とつぶやきながらフラフラと歩いたりしてやっと次のCPに。15:40関門のところ、5分遅れで到着。北海道のあいちゃんたちがいた。涼しい土地から来て大変だろうな。脚がつりまくりだとのこと。でも彼女はあきらめない。すでに**15:46**になっていたが、「残り6キロ。**6×8=42！**計算できない、間に合うかな？」**「あと46分あるから、間に合うんじゃない」「そうか！」**と飛んで行ったけど、**もうみんな頭おかしい。**

コリントス運河が近づいてくるのが地形、風景でわかる。。高速道路などが平行、交差し、上り坂になる。右にカーブするころ、運河の対岸の崖が見えた。あれがコリントス運河だ！大昔、機械もない時代に掘ったものだ。すごい！もっと手前で関門にひっかかるとあきらめていた。でも、ここまで来ることができた。関門通過は絶望的だけど、**自分の脚でコリントス運河を越えられる！**完走できそうもない残念さより、そのうれしさのほうが大きかった。ヨレヨレ走りになっていたけど、もうひとがんばりしよう！

第21CP、78.5kmは16:15関門ちょうどに入った。残り15分で2.5キロ。今の走りではありえない。でも、ここはギリシャ。残り2.5キロといってもあやしいもんだ。もしかしたらもっと短いかもしれない。大会の時計が合っていないかもしれない。だから、もしかしたら間に合うかも

しれない。関門通過の可能性にかけ、全力でがんばろう！そして、もし通過できたら、その先で休んで、歩いて、次のどこかでひっかかるまで進もう。コリントス運河の橋に来た。観光客が渡っている。兩岸は地層が見える高い崖、深くて細い水路だ。ついに、自分の脚で越えられた。81キロ関門までもう少し。多分、間違いはおこらず通過はだめだろう。最後だから残力使い果たそう。必死だったけど、ペースは上がらない。

そして、閉鎖された関門のバーは私にとってのゴールテープに見えた。16:36。6分オーバーだった。伏見さんが迎えてくれた。「大丈夫なんじゃない、先に行ってしまうば？」と言われたけど、すぐ前のランナーも捕まってゼッケンを返している。ゼッケンはずし、渡辺センセをみつけたのでそこまでなんとか歩いて、、、ベンチにぶっ倒れた。関門に間に合ったのにリタイアしたセカイノカナイさんが水などを持ってきてくれた。すぐ脇にマッサージコーナーのブルーシートがあったのでそこでしばらく寝込んだ。

なんとか動けるようになって、あたりを見回すと、セカイノカナイさんが心配して付き添ってくれていたが、ほかに日本人はいないし、スタッフも片付けを始めている。スパルタへ直行するバスはもう行ってしまったそうだ。最終に乗り遅れたら大変。道路にでると、大型バスが待っていた。中はガラガラ。しばらく待ってやっと発車。少し走ってまた止まった。数人が乗り込む。ぎりぎり関門通過したけど力尽き、次のCPでリタイアしたそうだ。そのままずっと止まっていた、いつ発車し、どこに行くのかわからない。各CPでリタイアするランナーを順に拾って満員になったらスパルタに行くらしいが、もう1台のバスやその他の車で配車の打ち合わせができないらしい。みんなは夜通し走るのだから、ゼイタク言っていられない。でも、つらいな～。

やがてバス2台と車数台が行列で動き出した。コースに沿って進み、前方に奇怪な山(遺跡らしい)が見え、いい味だしてる街に入った。これが古代コリントスらしい。狭い道を進むと、遺跡の上に出た。でも先に進めない？何がおきたかよくわからないが、私達のバスは狭い道をバックして戻って、別の道から街の中心部に近づいた。それからまたバックで戻り、大回りをして高速に乗り、ネメアに向かった。もうあたりは真っ暗だ。コースに合流。ランナーの通過が見えた。バスが待機したところは、ネメアの一つ先のCPだそうだ。まだトップから15人くらいしか通過していない。外に出て応援すればよいのだが、余力がなく、車内で寝ていた。他のCPでリタイアした人を車で連れてきたらしく、いつの間にか車内は一杯になっていた。最後に、歩けなくなるまで頑張った韓国人女性ランナーを乗せて、スパルタに向かった。12時半ごろにはホテルに入れるだろう。

[29日に続く](#)

[旅がらすの乱RUN欄 2007年9月に戻る](#)

[からっ風の丘からHOME](#)